



藤沢市市民活動支援施設 情報誌

- 1～2p 活動相談をご活用ください！
- 3～4p 情報クリップ、助成金情報
- 5p NPO TIPS、コラムVol.130
- 6p 講座・イベント等のご案内、支援施設からのご報告 他

「活動相談をご活用ください！」

大変な時だからこそ、手を取り合って支えあう。



相談でつながった「きずな弁当」

5月、新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言が延長され、自粛生活が長くなっている現在、皆様の活動はどのような変化があったのでしょうか。

今回は、休館中でもぜひ支援施設の活動サポートをご利用いただきたいという想いから、この期間中に携わった事例をご紹介します。

市内にある学校法人湘南学園のカフェテリアを運営している「NPO法人湘南食育ラボ」と障がい児の放課後等デイサービスを運営する「特定非営利活動法人laule'a(ラウレア)」のマッチング事例です。

現在、藤沢市市民活動支援施設(推進センター、プラザむつあい)は3月上旬から5月末まで臨時休館となっています。施設自体は休館となっていますが、私たちスタッフの市民活動団体の支援は継続して行っています。

相談窓口

○藤沢市民活動推進センター 火曜日を除き9時～22時
電話 0466-54-4510

メール f-npoc@shonanfujisawa.com

○市民活動プラザむつあい 月曜日を除き9時～17時
電話 0466-81-0222

メール f-npoplaza@shonanfujisawa.com



調理中の様子

「NPO法人湘南食育ラボ(以後、湘南食育ラボ)」は学校法人湘南学園に通う子ども達の保護者をはじめとする関係者の想いが結集し、2013年に設立されました。カフェテリアの運営を中心に活動していますが、大磯町立中学校の給食問題の解決のためにお弁当の配食を手掛けるなど、先進的な取り組みも進めており、その後、縁あって松下政経塾の塾生への食事の提供も始めました。現在、新型コロナ拡散防止で、湘南学園は休校し、松下政経塾の寮生は数名となっていますが、寮生への食事の提供は続けています。松下政経塾のご厚意もあり、調理場でできることはないかと考え、学校休校に伴い子どもたちにお弁当を届けることで少しでも貢献できないか、という想いで推進センターの相談窓口にご連絡をいただきました。

そこで私たちが紹介をさせていただいたのが「特定非営利活動法人laule'a(以後、ラウレア)」です。ラウレアは、障がい児の放課後等デイサービスの運営を行っている団体で、辻堂団地にある「遊びりパークLino'a(リノア)」という施設を運営しています。学校が休校になったため、こちらの施設は、春休みなど長期休みの体制を3月初めから継続し、非常に忙しい状況にありました。通常、お弁当を持ってきていただくことになっていますが、学校の休校が長引いているため、保護者の負担が重なっていました。今回の湘南食育ラボからの配食の提案をうけ、とても助かったと、代表の横川さんは言います。

活動の縮小を余儀なくされた団体のアイデアが、活動が逼迫している団体の支えになっていました。

また、子どもたちの食育の輪を広げられたことや、食の悩みの解決につながるなど、両団体が出会ったことで、新たな可能性が見えてきたと、両組織の担当者の方は口を揃えて言っていました。

新型コロナウイルス感染拡大防止策によって発生した様々な制限の中、活動を思うように実施できなくなった団体が多くあると思います。これは団体活動を続けていく上で確かに重く大きな変化ですが、今回の取材を通じて、新しい取り組みにチャレンジする団体があり、その取り組みによって、新たな協力関係が育まれている状況が見て取れました。

新型コロナウイルスによる不安と、現実的に活動の制限が続いています。顔を見ながら活動することはとても大切なことですが、現代社会では、様々なコミュニケーションツールが開発され、新しい形の交流ができるようになりました。新しいツールを活用し、地域の新たな「つながり」を創るお手伝いなどもできればと考えています。

藤沢市市民活動支援施設は、現在、相談業務をはじめ、情報収集発信、印刷代行など、できる支援を行っています。「助成金の情報はありますか。」「オンライン会議のやり方を知りたい。」「クラウドファンディングに挑戦してみたい。」といった相談はもちろん、内容が漠然としている場合でもかまいません。

すべての一歩は相談することから始まります。まずは気軽にお電話ください。



大切なきずな弁当の入った保温箱を手渡し

取材協力
NPO法人湘南食育ラボ
<http://www.shonan-slab.com/>

特定非営利活動法人laule'a(ラウレア) 運営施設
遊びりパークLino'a(リノア)
<https://www.laulea-linoa.com/>

コロナ禍の中、快く取材協力を頂きありがとうございました。

「オンライン会議のコツ」

封書がメールへの変化と同じく、会議もオンラインで実施するツールが、テレ(リモート)ワーク時代には、必須になってくるかもしれません。今回は「オンライン会議」に向け、ポイントをまとめました。ぜひ今の時期に慣れておいて、オンとオフ、どちらの会議でも対応できる団体を目指していきましょう！

1. 準備をしっかり 右の表にチェックポイントがあります。
・ウェブカメラ、マイク(イヤホンマイクでも)は、PCに備え付けのものよりも別途用意するだけで、映像、音声の質があがります。
・当日は会議の1時間くらい前から準備をはじめ、接続テストの時間を必ず設けましょう。
2. ツールの選定
・ZOOM、Hangout Meet、Teams、Wherebyなどなど。スマートフォンなら、セキュリティの高い会議なら、と1つのツールに拘らない”使い分け”が出来ようになると万全です。
3. オンラインならではのコミュニケーション
・画面を挟むと、感情や意思は伝わりにくいもの。オーバーリアクションをしましょう。また、多人数が参加する会議でも、話す人は1人だけになりがち。どなたがこれから話すのか、を明確にすることが大事です。

・オンライン会議は、実際に集まって行う会議とは違うものです。しかし、交通費の削減や時間帯の合わせやすさなど、ならではのメリットもあります。(桜)

オンライン会議をスタートするまでの STEP

1. 開催者の機材を揃える(イヤホンマイク、カメラなど)
2. 参加者の機材を確認する
3. ツールを選ぶ
4. テスト(予行演習)をする
- ✓ **Check! 1** 音声とビデオを使い、会話できましたか？
5. 話す内容の資料を作る
6. 会議の前に参加者に資料を送る
7. 参加者に会議に参加する手順を説明する
8. 会議にアクセスできる URL を参加者に送る
- ✓ **Check! 2** 参加者の疑問にお返事できていますか？
9. 開始 15 分前に開催者は会議システムをオープン、
参加者の接続を待つ
- ✓ **Check! 3** 全員の参加が確認できましたか？
10. さあ、会議をスタートしましょう！

Zoom会議に参加 なぜなにNPO Vol.130

2020年3月は、コロナ渦の中で会議やイベント、打ち合わせが次々と中止となりました。公共施設が次々と臨時休館し、打ち合わせをしようにも場所を決めることが難しくなっていました。それでも3月末までは何とか顔を合わせた会議等ができていました。

4月に入り、ひと段落するかと思いきや、ますます厳しい状況となり、ロックダウン。小中高高等教育機関も動きを止めました。お世話になっている大学は、8月31日まで学内に入ることもできなくなりました。

そのような中でも、新年度は始まり、計画に沿った活動や事業を少しでも進める必要があり、様々なコミュニケーションツールを駆使した会話をするようになりました。電話・メール・LINEなどのSNSは通常でも使用していましたが、それに加え「Zoom」を使い始めました。おそるおそる参加ボタンを押すと、見慣れた皆さんの笑顔がPCに映し出されました。映像とはいえ、やはり顔の見える関係が心地よい。参加者の数も4名程度から80名近くまで、10回以上参加しました。

参加を重ねる毎に、見ている画面のレイアウトや、意見を言うタイミングやマナー、資料の共有など少しずつわかってきましたが、次もできるのか不安でした。尚且つ、「Zoom」は危険という意見も聞くようになり、果たしてこのままで良いのかと思っていました。

そんな時、「Zoomの使い方」オンラインセミナーを見つけ、参加しました。使っていなかったホワイトボード機能や意思表示機能、グループワークのためのチーム機能などを学び、ある程度の不安解消が図られました。



働き方改革といわれながら、実施に踏み切れていなかった企業も、いよいよリモートワークをせざるを得ない状況になってきたように、市民活動団体の活動の方法も変化の兆しが見えてきました。まだまだ初心者ですが、来週から大学のオンライン授業も始まります。これからも学びは止められませんね。因みに「Zoom飲み」の経験はまだありません。(笑) (て)

講座・イベントのご案内

日程	4/4(土)～5/31(日)	5/23(土)～6/5(金)
講座名	市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい 臨時休館期間	オンライン講座 「小さな組織のTwitterコミュニケーション」配信期間

支援施設からのお知らせ

オンライン講座

「小さな組織のTwitterコミュニケーション」

推進センターでは、初のオンライン講座として、Twitterの効果的な使い方講座を実施します。

NPO法人NPOサポートセンターの協力のもと、YouTube LIVEでお届けします。期間中であれば、何度も見返すことができます。

団体の応援団を作りたい方や、Twitterを通じてのアクションを検討中の方、ぜひお申し込みください。

期間：2020年5月23日(土)～6月5日(金)

講師：鎌倉 幸子氏

料金：1,000円

対象：NPO・ボランティア団体で活動している方

内容：・NPOの応援団になってくれるTwitterユーザーの発見方法

・Twitterユーザーの興味や、社会の関心毎を学ぶ方法

・NPOと個人が一緒に行動を起こすためのSNS運用方法

・広報体制とTwitterのコミュニケーションを両立する方法

主催：藤沢市市民活動推進センター

協力：NPO法人NPOサポートセンター

ミライカナエル活動サポート事業

募集の一時停止について

藤沢市による市民活動団体向けの提案・助成事業、「ミライカナエル活動サポート事業」につきまして、募集の一時停止のご案内をいたします。

5月4日に決定した新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の延長(5月31日まで)を受け、本事業の募集を停止させていただきます。今後の予定については、下記URL上に掲載予定ですので、ご確認くださいませようお願いいたします。

[http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/jiti-](http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/jiti-s2/kurashi/shimin/shimin/miraikanaeru.html)

[s2/kurashi/shimin/shimin/miraikanaeru.html](http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/jiti-s2/kurashi/shimin/shimin/miraikanaeru.html)

※または「ミライカナエル活動サポート事業」で検索

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための推進センター・プラザむつあいの休館について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、神奈川県を含む7都県に緊急事態宣言が出されました。藤沢市の方針により下記の期間、会議室・フリースペース・印刷機等が利用休止となりました。長期にわたる休館となり、皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

<臨時休館の期間>

2020年4月4日(土)～5月31日(日)

休館期間中もスタッフが館内に詰めておりますので、お電話・メールでのご相談や、6月以降の会議室等のご予約はできます。

◆受付時間

センター： 9:00～22:00(火曜日を除く)

プラザ： 9:00～17:00(月曜日を除く)

活動に必要な印刷物がある場合は、推進センタースタッフが代行させていただきます。詳細は下記URLよりご覧ください。

<http://npocafe.f-npon.jp/topics/archives/2020/03/15-1230.html>

推進センターHPでは、休館期間中も皆さまから頂いたイベント情報や、新型コロナウイルス感染症に関する団体としての対応に役立つ情報についても更新してまいりますので、そちらをご覧くださいませ。

今後の状況により、休止期間や受付時間に変更が生じた場合は、ホームページやメールマガジン等でお知らせいたします。

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております♪ サポーターも随時募集中です！

発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間9:00～22:00 火曜休館

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 小島ビル2階

TEL:0466-54-4510 FAX:0466-54-4516

Eメール：f-npoc@shonanfujisawa.com

URL：http://npocafe.f-npon.jp/

分館：市民活動プラザむつあい

開館時間9:00～19:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL & FAX:0466-81-0222

Eメール：f-npoplaza@shonanfujisawa.com

URL：http://plaza6i.f-npon.jp/

編集：認定NPO法人 藤沢市民活動推進機構（藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体）

情報クリップ

5月号

2020年



藤沢周辺の講座やイベント、NPO支援情報を掲載しています。発信したい情報がある場合は当センターまでお寄せください。今月号は新型コロナウイルス感染拡大防止のためのイベント等の中止・延期が相次いでいる為、支援情報のみの掲載としました。

藤沢市市民活動推進センター ☎0466-54-4510 ✉f-npoc@shonanfujisawa.com

新型コロナウイルスの影響で休業中の団体のみなさまへ(持続化給付金等)

緊急事態宣言に基づき、事業を休止している事業者に対する公的な支援として、「持続化給付金」(経済産業省)や、「新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」(神奈川県及び藤沢市)があります。教室やお店などを継続して運営しているなど、今後の活動に大きな影響を受けている場合(※)はNPO法人などの公益法人等も給付対象になります。

※「前年同月比で事業収入が50%以上減少した月があること」

「緊急事態措置により、施設の使用停止や夜間営業時間の短縮要請に応じた」など

①「持続化給付金」(経済産業省) 令和3年1月15日締切 中小企業等は上限200万円

②「新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」(神奈川県) 令和2年6月1日締切

③「新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」(藤沢市) 令和2年7月10日締切

②、③の給付額は事業所の所有状況などにより異なります。

上記の他にも様々な支援情報があります。詳しくは当センターウェブサイトのトップページから「新型コロナウイルスに関する参考情報」を参考にしてください。ご相談も承りますのでお気軽にお問い合わせください。

NPO支援助成金情報

※下記以外にも情報が多数あります。詳細は、右のQRコードから

「支援情報データベース」をご覧ください。



締切	助成金名	分野	主催	情報No.
5/29	福祉たすけあい助成	保健・医療・福祉の増進	公益財団法人 かながわ生き活き市民基金	73219
5/29	支援付き住宅建設・人材育成事業	保健・医療・福祉の増進	公益財団法人パブリックリソース財団	73230
5/31	丸紅基金	保健・医療・福祉の増進	丸紅基金	73231
5/31	かながわ民際協力基金助成事業 多文化共生ステップアップ・プログラム	国際協力	公益財団法人 かながわ国際交流財団	73223
5/31	かながわ民際協力基金助成事業 民際協力アドバンスプログラム	国際協力	公益財団法人 かながわ国際交流財団	73222
5/31	地域福祉チャレンジ活動助成	保健・医療・福祉の増進	公益財団法人日本生命財団	73189
6/4	トヨタ環境活動助成プログラム	環境の保全	トヨタ自動車株式会社	73232
6/8	2020年度国内助成プログラム	全分野	公益財団法人 トヨタ財団	73234
6/8	令和2年度 障がい者福祉助成金	保健・医療・福祉の増進	社会福祉法人木下財団	73224
6/16	子どもゆめ基金 子どもの体験活動・読書活動	子どもの健全育成	独立行政法人 国立青少年教育振興機構	73220